



ディスク
ドッジビー

日本ドッジビー協会 認定
<http://dbj.gr.jp>

第1回 ドッジビーフェスタ
in 成蹊学園 2016

実施報告書

2016 / 2 / 3

DBJA Dodge
Bee of
Japan
Association

日本ドッジビー協会

【大会概要】

- 名 称 第1回 ドッチビーフェスタ in 成蹊学園 2016
- 日 時 2016年(平成28年)1月31日(日曜日) 9:30~16:00
- 場 所 成蹊小学校 体育館及びグラウンド TEL:0422-37-3839
〒180-8633 武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1
- 主 催 日本ドッチビー協会
- 後 援 武蔵野市教育委員会 / 武蔵野市体育協会
- 協 力 成蹊小学校 / 成蹊大学リベロス(アルティメット・サークル)
武蔵野市ドッチビー協会
- 協 賛 京王電鉄株式会社 / 文化シャッター株式会社
日本テトラパック株式会社

【お問合せ】

日本ドッチビー協会事務局

住所 : 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-46-302

Tel : 03-3264-3626

Fax : 03-3264-3627

mail : support@dbja.jp

担当 : 稲垣 敬雄

【参加チーム 一覧】

	人数
① 成蹊小学校ドッチビー部(5・6年生部員)	13
② 成蹊小学校・雷神 (4年生以下)	17
③ 成蹊小学校・風神 (4年生以下)	19
④ M.D.C (武蔵野市ドッチビークラブ)	16
⑤ CCICS(府中市カルハリチャペル・インターナショナル・クリスチャンスクール)	17
⑥ 番町リーダーズ 空 (千代田区立番町小学校)	14
⑦ 番町リーダーズ 海 (千代田区立番町小学校)	11
⑧ 住吉クローバーZ (府中市立住吉小学校)	35
⑨ つっちBEE!! (茨城県土浦市／社会人)	14

※⑨はAM講習会のみ参加希望にて受付

●大会関係者総数： 65名

内訳/チーム監督コーチ 20名

/主要スタッフ 10名

/協カスタッフ 28名

/来賓その他 7名

●参加選手総数 156名

◆大会関与者総合計 222名

◆観戦・引率保護者数 約200名

大会関係者総合計 約420名

【最終順位 一覧】

優勝 番町リーダーズ 空	5位 番町リーダーズ 海
準優勝 成蹊小学校ドッチビー部	6位 成蹊小学校・風神
3位 M.D.C	7位 成蹊小学校・雷神
4位 住吉クローバーZ	8位 CCICS

【競技方法】

・トーナメント形式にて、8チーム全てが各3試合をおこない、全順位を決定。

試合時間 / 3分30秒ずつの前・後半。

同点の場合、ペナルティスロー戦で勝敗決定。

コートサイズ / 9×18 尺

試合人数 / 13人 vs 13人

【タイムスケジュール】

8:30 主要スタッフ集合 9:00 協力スタッフ集合

9:30 参加者集合

9:50 開会式

10:00-11:45 <講習会>

・小学校体育館およびグラウンドにおいて日本ドッジビー協会の専任講師による基礎的な講習会をおこないました。

{10:45~11:00 休憩} ⇒成蹊大学リベロスのアルティメット・デモンストレーションゲームを実施。

11:45-12:25 昼食休憩

12:30-15:30 <ディスクドッジ大会>

12:30-12:45 試合①

12:45-13:00 試合②

13:00-13:15 試合③

13:15-13:30 試合④

13:30-13:45 試合⑤

13:45-14:00 試合⑥

14:00-14:15 試合⑦

14:15-14:30 試合⑧

14:30-14:45 試合⑨

14:45-15:00 試合⑩

同時時間帯、グラウンドにおいては、
成蹊大学リベロス(アルティメット・サークル)
によるアルティメットの体験コーナーを実施。

15:00-15:15 試合⑪ 3位決定戦

15:15-15:30 試合⑫ 決勝戦

15:40 閉会式

16:00 参加者解散

【講 評】



今回の大会は、我々も初となる新規形態のイベントでありAMに講習会、PMより大会という2部構成の「ドッチビーフェスタ」として開催しました。

会場はJRおよび京王井の頭線が乗り入れ都内で最も人気の街、吉祥寺から徒歩圏内に位置する小／中／高校から大学までがワンキャンパスにある成蹊学園をお借りました。

また、同大学には歴史、成績ともに確固たるアルティメットチーム「リベロス」が存在し、本大会へ現役大学生はもちろんOBまでが集まってくださり全面協力の元、実施されました。

AMの講習会は、150名以上の参加者を5グループに分けてそれぞれ協会スタッフがメイン講師となって対応するため、会場は屋外を想定しました。

天候だけは運に任せざるを得ないことは承知のうえ、ではありましたが前日・前々日より降雪予報が出る天候となり、開催前日の正午に現地下見へ訪れたところメインの広いグラウンドはぬかるみ、使用が不可と判断せざるを得ず急遽会場レイアウトを変更して、すぐ横にあるサブグラウンドを使用することで予定通りAM講習会の実施を決定しました。



しかし、下見以降(前日の晩)にさらに降雨があった場合、参加者には朝から集合していただきながらも当日判断でAMの講習会は中止の可能性もあり、ハラハラ、ドキドキの心境。しかし、前日の晩からは雨降ることもなく当日は朝から晴れ間も見えるほど回復し、無事に予定通りの進行でおこなうことができました。

集合時間には続々と参加者が。受付も混乱なく、スムーズに進行。





全チーム集まり、
開会式も滞りなく
進み、本日最初の
プログラムで
ある講習会に
移行しました。



屋外での実施にて天候や著しく低い気温になった場合の心配が
ありましたが、日差しのおぬくもりを感じる穏やかな気候に安堵！！



講習時間内の途中には、全グループ斉休憩を15分ほど採り、成蹊大学リベロスの
アルティメット・デモンストレーションを実施。プラディスクの飛行に小学生から歓声も！



昼食休憩をはさみ午後からは、いよいよ8チームによるトーナメント形式の大会を開始。
PMの大会会場は成蹊小学校の体育館を使用。コートは1面のみですが可動式観客席
は非常に観戦しやすく、保護者の応援にもおのずと熱が入っていました。



我々DBJAは主催者として今までに数多くの大会をおこない、あらゆる会場にて大会の運営に携わってきました。

また、今まで1会場に複数コートでの運営を当然のごとく、おこなってきました。

しかし、1コートオンリーの良さ、具体的にはすべての目が集中せざるを得ない環境の価値を感じることができました。



結果として成蹊小学校での大会開催によって我々も得るものがあり、本当に素晴らしい大会となったことをご報告したいと思います。

試合は会場の雰囲気そのまま内容に反映するのか、毎試合白熱した熱戦が繰り広げられ見ごたえある試合の連続でした。





試合運営も非常にスムーズに進行させることができ、これも1コートオンリーの効用だと感じましたが、当初の終了予定より1試合分ほど早く全試合を終了！！突然ではありますが会場の保護者の皆様に体験いただく趣旨で客席に向けて希望者を募り、その場で保護者体験ゲームを実施！大いに盛り上がりました。

ドッジビーの特長である年齢・性別の差がなく、誰もが一緒に楽しめる！子どもがプレーする姿を見た後に、父兄がプレーすることで、この実体験ができる。幸いに時間がとれたので実現できた企画でしたが、コンパクトな一体感を持つことができる会場ならではの幸運を、はからずも得ることができました。



その後予定時間通り、表彰閉会式を執りおこない、大会は事故なく終了となりました。



今大会の全参加者・スタッフへは協賛企業様よりいただきました参加賞を配布しました。

京王電鉄株式会社より、キャラクターグッズ
文化シャッター株式会社より、スポーツタオル
日本テトラパック株式会社より、エコ・ドッジビー
さらに表彰副賞として京王電鉄株式会社より
キャラクターデザインのエコ・ドッジビー
が成績別に傾斜配分のうえ全チームに
贈られました。

